

学校再編かわら版（東中号外）



発行日 令和4年7月20日
発行 富岡市教育委員会事務局
学校再編推進室

富岡市の学校再編についての考え方と、東中学校の現在の状況についてお知らせします。



学校再編についての考え方

◇ 学校教育の特性と求められる環境

- ◆ 学校教育では、子どもたちが集団の中で、多様な考えに触れ、互いに認め合い、協力し合い、高め合いながら、一人一人の資質や能力をはぐくみ、社会性や規範意識を身に付けていくことが重要です。そうした教育を十分行うためには、一定の規模の集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスの取れた教職員が配置されていること望ましいと考えられます。

◇ 少子化による学校への影響

- ◆ 全国的に少子化が進む中、富岡市の小・中学校でも小規模化が進み、教育活動や学校運営、教員配置上の課題が心配されています。

◇ 富岡市の考える適正規模について

- ◆ 市教育委員会では、「富岡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画」を策定し、学校再編に取り組んでいます。富岡市の考える適正規模の学校とは12学級から18学級の学校で、小学校では1学年2学級から3学級、中学校では1学年4学級から6学級となります。適正規模にすると…

クラス替えができ、多様な人間関係の中で社会性をはぐくむことができます。

子どもたちの人数が増えることで、多様な学習活動が可能になります。

クラブ活動や委員会活動・部活動などで多様な選択肢が可能となります。

バランスの取れた教職員の配置が可能となります。

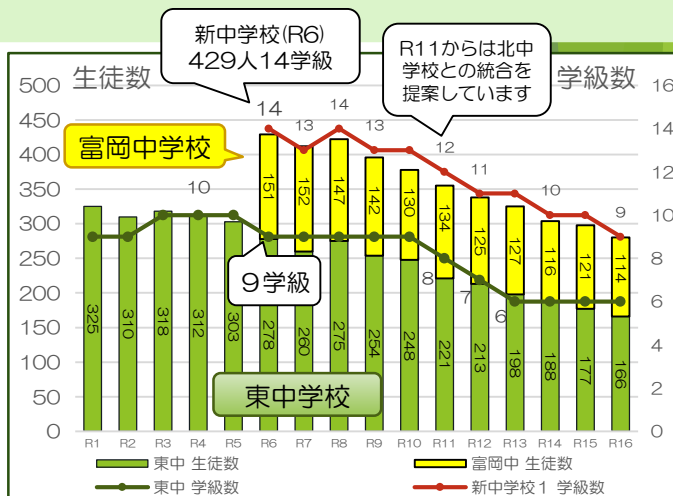
◇ 適正配置の仕方について

- 統合の組み合わせは、校区が隣接している学校とします。
- 小学校については、同一中学校区を原則とします。
- 統合後は、原則として、児童・生徒数の多い学校の校舎を使用します。
- 必要に応じて通学区域の再編も検討します。
- 通学が遠距離（小学校3.5km・中学校6km以上）の場合にはスクールバスを運行します。
- ◆ 現在ある小学校11校、中学校6校をそれぞれ統合することで適正規模化し、最終的には、小学校4校、中学校2校に再編していく計画です。

東中学校の状況について

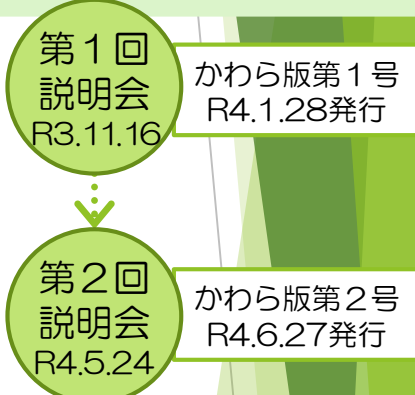
◆ 今後の生徒数と統合後の生徒数

- ◆ 東中学校は令和6年度に富岡中学校と統合し、新しい中学校を作っていく計画です。令和4年度の東中学校の生徒数は312人、通常学級10学級の小規模校です。2年後には、生徒数が30人以上減り、学級数も9学級になる見込みです。令和6年度に東中学校と富岡中学校を統合すると、生徒数が429人、通常学級14学級の適正規模校となる見込みです。
- ◆ 統合後の校舎は、東中学校の校舎を使用する予定です。



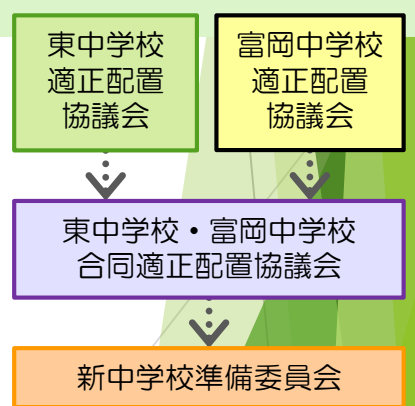
◆ 統合に関わる東中学校の現在の状況

- ◆ 東中学校では、これまでに2回の学校別説明会を行いました。各説明会の様子は、学校再編かわら版にてご確認ください。
- ◆ 現在は、「東中学校適正配置協議会」が行われています。この協議会では、地域や保護者の代表のみなさんに委員となっただき、東中学校と富岡中学校の統合について承認できるかどうかを協議していただきます。協議会では、地域・保護者のみなさんのご意見をいただきながら進めていくことが大切です。



◆ 今後の予定

- ◆ それぞれの学校の適正配置協議会で合意が得られたら、次は東中学校と富岡中学校の合同による適正配置協議会に進みます。そこでは、統合の時期を含めて最終的な合意形成を行います。その後は、学校を中心とした準備委員会を立ち上げ、新しい学校をスタートするために必要な校名・校歌・校章・制服・体育着・教育方針・教育計画・部活動・登下校などについて、具体的に決めていくことになります。



✎ 子どもたちにとってよりよい教育環境を実現するためには、地域や保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。よろしくお願いいたします。

問合せ

富岡市教育委員会事務局 学校再編推進室
 TEL 0274-62-1511 (内線2113)
 FAX 0274-64-1455
 Mail k-soumu@city.tomioka.lg.jp

学校再編推進室
(市ホームページ)

